

プリウス(ZVW5#系)

インバーター冷却水交換後のエア抜き

■対応車種:プリウス(ZVW5#系)

■対応年式:平成 27 年 11 月～

G-SCAN を使用して行うプリウス(ZVW5#系)のインバーター冷却水交換後のエア抜き要領を記載します。整備モードに入れることでも、インバーターウォーターポンプを作動させることが出来ますが、ここでは G-SCAN のアクティブテストを使用して行う要領を記載しますので、参考にして下さい。



※注意※

・冷却水系統にエアが混入した状態で走行した場合、以下のダイアグコードが出力される場合があります。

・P0A9300・P0C7396・P0A001C・P0A001F・P0A789E・P1C5D19・P0A7A9E

・P1C5F19・P0A949E・P0D3319・P0AED1C・P0AED1F・P0C381C・P0C381F

・P0C3D1C・P0C3D1F・P1CCC96

インバーター冷却水交換後のエア抜き要領

1. IG SW OFF の状態で、G-SCAN を DLC3 コネクタ(OBD16 ピン)に接続してください。
2. IG SW ON の状態で、G-SCAN の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『HV』を選択してください。

※注意※

・エンジンは始動しないでください。

3. 診断メニューにおいて、『アクティブテスト』を選択してください。



〈図: アクティブテストを選択〉

4. 『インバーターウォーターポンプ』の項目を選択し開始を押してください。



〈図: 開始を選択〉

5. 実行を選択してください。



〈図: 実行を選択〉

6. 「テスト中」になり、インバーターウォーターポンプが作動していることを確認してください。



〈図: テスト中〉

7. インバーターウォーターポンプを停止させる時は解除ボタンを押してください。



〈図: 解除を選択〉

8. エア抜きが終わり、アクティブテストを終了するときは停止ボタンを押してください。



〈図: 停止を選択〉

※基準※

インバーターリザーブタンクの水位が FULL 付近を保つように、冷却水を補充しながらインバーターウォーターポンプを約 1 分間作動させた後、1 分間停止させてください。この作業を 3 回程度繰り返して「インバーターウォーターポンプの作動音が小さくなる」及び「インバーターリザーブタンクから覗いて気泡が出なくなる」状態になれば、冷却水系統のエア抜きは完了です。

※参考※

インバーターリザーブタンクに冷却水を補充し過ぎると、インバーターウォーターポンプを停止させたときに、冷却水があふれることがあるので注意してください。

9. エア抜きが完了しましたら、インバーターリザーブタンクの FULL まで冷却水を補充し、インバーターリザーブタンクのキャップを取り付けてください。